

令和4年度 第二回
みどりの見学
施設ガイド

犀川浄水場

所在地 差出南三丁目-10-1

☎ 227-0669

敷地面積 48,808 m²

延べ面積 5,301.00 m²

構造 鉄筋コンクリート3階 他9棟



▲犀川浄水場

犀川浄水場では、犀川から 30,800 m³/日を取水し、急速ろ過方式にて処理を行っています。犀川浄水場で処理した水は、ポンプによって直接供給しているほか、夏目ヶ原浄水場にも送られ、市内各所に供給されています。また、小田切、七二会、信更地区にも送られています。

◎現在の取水量は、大町ダムからの 30,800 m³/日のダム水(小田切ダムから取水)と、33,420 m³/日の伏流水を合わせると合計 64,220 m³となり、長野市最大の浄水場となっています。

【急速ろ過方式】

急速ろ過は、ろ過池の前に、沈澱池という設備を設けてあります。ここでポリ塩化アルミニウムという濁りを集める凝集剤を注入して原水に混ぜている濁りを沈めた後、うわ水をろ過池に送ります。こうして沈みやすいものを十分沈めてから砂の層を通してろ過しますが、ろ過する速度が速く 1日120～150m という速さで水を通過させ、細かい濁りを取り除きます。この方法は設備や薬品・電気代等経費はかかりますが、原水が急に濁った場合でも対応が容易にでき、施設の面積を少なくすることができます。

長野市では犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場などの河川水等（水質変動が大きい水）を原水とする浄水場でこの方法を採用しています。

水源	犀川表流水及び伏流水(深さ 40～90m)
配水能力	60,887 立方メートル/日
フロック形成池	容量 360.7 立方メートル×2池
薬品沈澱池(横流式)	容量 2,240 立方メートル×2池
急速ろ過池	面積 35.28 平方メートル×8池
配水池	容量 20,000 立方メートル



▲水道資料館

【水道資料館】

“水は生命”

“身近で大切な 私たちの水道”

休館日 土・日・祝日・年末年始

◎水道資料館は、長野市水道事業 70 周年と、近代水道 100 年を記念して、第一期拡張事業でつくられた旧原水ポンプ室を改修して、内部に水道のいろいろな資料を集めて開設しました。

長野市ジビエ加工センター

所在地 長野市中条住良木 1558 番地 2

☎268-3450

開所日 平日（月曜は休所日）・土日祝日

休館日 ◆夏季（8月10日から17日）、
年末年始（12月29日から1月3日）
◆中条地区イベント日、施設点検日等による臨時休館日は随時

開所時間 午前8時から午後5時まで
（捕獲個体受入は午後2時30分まで）

構造 鉄骨造平屋建（約330㎡）

総事業費 約3億5,400万円（内、国交付金1億2千万円）

主な施設設備 解体室、熟成室、処理室、冷凍室

※個体ごとに認識番号を付しトレーサビリティの確保

移動式解体処理車 車内で一次処理（皮剥ぎ、内臓摘出）が可能

軽保冷車 ジビエ運搬専用開発（配置場所7か所）

配置場所 ①安茂里支所（安茂里、小田切、七二会）②茂菅（第一、芋井）
③信州新町支所（信州新町）④松代支所（松代）⑤信更支所（信更）
⑥戸隠支所（戸隠）⑦ジビエ加工センター（中条）

販売 国産ジビエ認証や信州産シカ肉認証を取得、
主に事業者向けに食肉用ジビエの販売



▲長野市ジビエ加工センター

◆農作物に被害を及ぼす有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカを、これまでのように地下に埋没処理等するだけでなく、新たな長野市の地域資源“ジビエ”とし無駄なく有効活用し、農業被害の軽減につなげ、かつ、中山間地域の活性化も図るため、平成31年2月に長野市中条地区にジビエ加工センターを整備しました。
移動式解体処理車や軽保冷車を活用して市内全域の捕獲に対応します。

◆鳥獣被害対策実施隊の任命

鳥獣被害防止特措法に基づき、市内の猟友会員（令和4年9月末現在で約360名）を、野生鳥獣被害対策と捕獲した野生鳥獣のジビエ活用に従事していただくため、鳥獣被害対策実施隊に任命している。